



三面鏡

207-552
207-553

取扱施工説明書

施工前・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

このたびは、三面鏡をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

施工・使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

警告 気をつけていただきたい「注意」を表します。

強制 必ず実行していただく「強制」を表します。

禁止 してはいけない「禁止」を表します。

指定 指定した場所に触れないでください。

施工上のご注意

警告



禁止

- 浴室など高温多湿の場所や、屋外など水がかかる可能性のある場所には設置しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、部品の腐食により、落下してケガや重大事故の原因となります。
- ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。変色や変形、火災を起こす恐れがあります。
- 修理技術者以外の人は絶対に修理・改造を行わないでください。ケガや故障の恐れがあります。
- 蝶番を調整する場合、指定のビス以外のビスをゆるめないでください。ミラー扉が落下し、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

- 取付位置には壁裏の補強を行ってください。取付けが不安定になり、取付物の落下によりケガや死亡の恐れがあります。
- 屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には取付けしないでください。取付けが不安定になり、取付物の落下によりケガや死亡の恐れがあります。
- ALC壁などこの説明書に記載されている以外の壁仕様には取付けしないでください。取付強度が保てず、落下する恐れがあります。
- ミラー扉の取付けは、本体を壁に固定した後に行ってください。ミラー扉を付けたまま本体を施工すると、蝶番に負荷が掛かりミラー扉が落下する恐れがあります。

注意



禁止

- 製品に強い力や衝撃を与えないでください。破損の原因となります。
- 不陸が5mm/2mを超える場所には施工しないでください。不陸があるまま施工すると本品がひずむ恐れがあります。
- 金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用しないでください。変色や変形の恐れがあります。
- 直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。変色や変形の原因となります。



必ず実行

- 施工する前に製品にキズ・欠け・割れなどが無いか確認してください。
- 工事完了後に固定にガタつきがないか、蝶番のゆるみがないか確認してください。使用中に落下してケガをする恐れがあります。
- 電源は必ず専用の建築側配線から取ってください。火災やキャビネットが破損する恐れがあります。

使用上のご注意

警告



接触禁止

くもり止めヒーター使用時は、鏡表面が高温になる場合がありますので触らないでください。やけどの恐れがあります。

注意



禁止

- 鏡に急に冷水や熱湯をかけないでください。破損の恐れがあります。割れたガラスはケガや重大事故の原因となります。
- 鏡ガラスエッジに小さな欠けが生じた場合はそのまま使用しないでください。衝撃や温度の急変で全体の割れに発展する恐れがあります。
- ミラー扉にぶらさがったり、無理に開けたり閉めたりしないでください。変形・破損の恐れがあります。
- くもり止めヒーターの電源を入れたまま離れないでください。変形・破損の恐れがあります。ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 電源プラグを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。
- 棚板に過剰にものをのせないでください。落下してケガをしたり、変形・破損の恐れがあります。*棚板の最大積載荷重は5kg、キャビネットの最大積載荷重は30kgです。

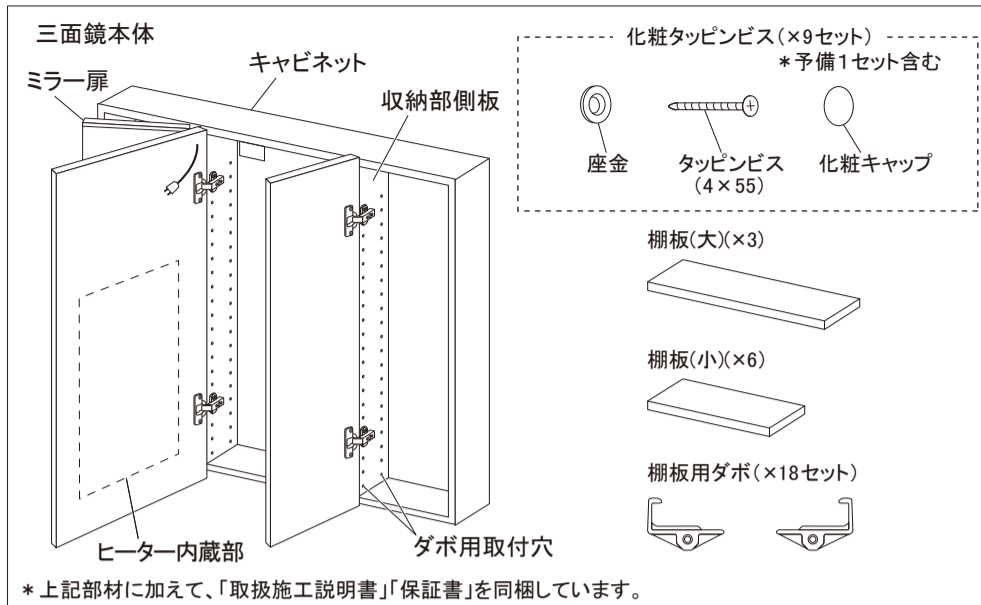


注意

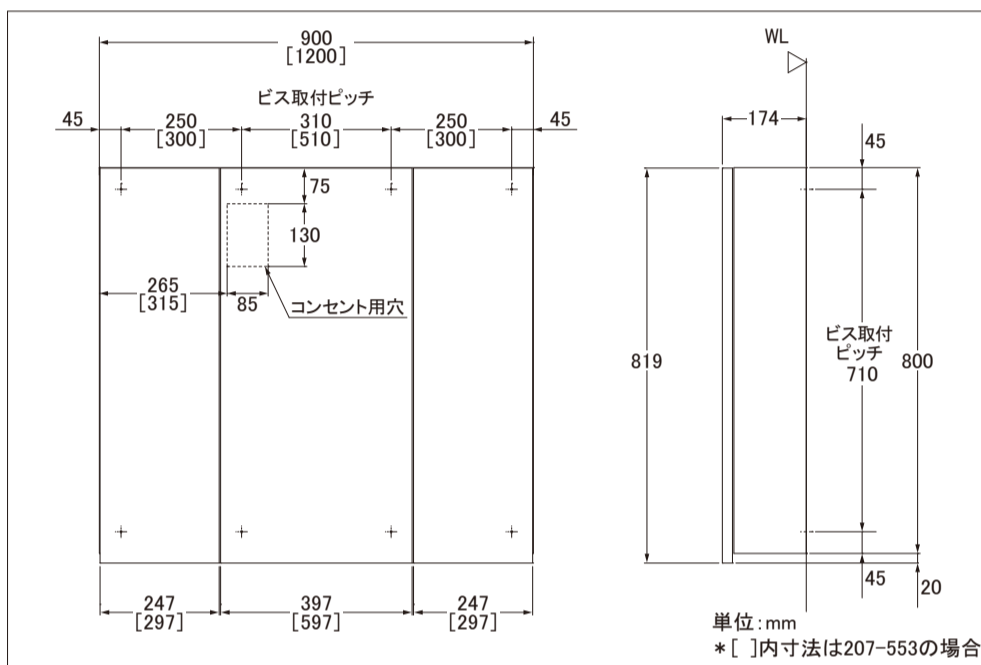
スチームクリーナーは、製品が破損する原因となりますので、使用しないでください。

各部のなまえ・製品同梱明細

■施工される前に各部材をご確認のうえ、ご使用ください。



寸法図



施工に必要な工具



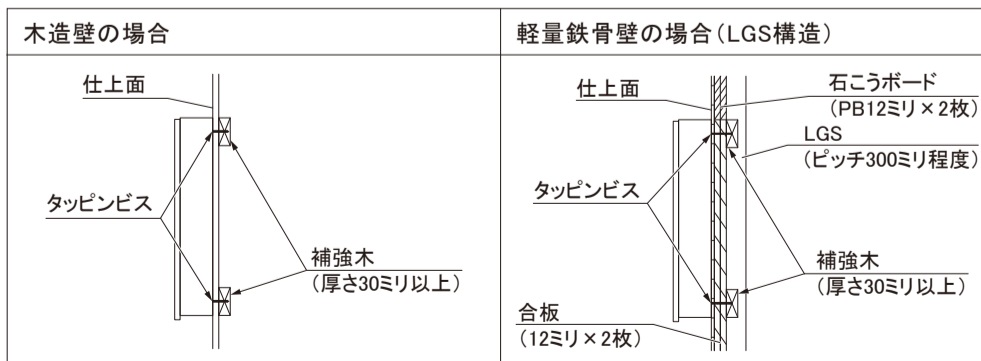
取付けの前に

電源について

施工前にあらかじめキャビネット内の「コンセント用穴」に合わせてコンセントを設け、連動して入/切ができるスイッチを別途設けてください。

- 必ず実行**
 - 電気工事は関連する法令、法規に従って必ず「有資格者(電気工事士)」が行ってください。誤った工事を行うと故障や漏電の際に感電する恐れがあります。
 - 分電盤に漏電遮断機がない場合は、別途漏電遮断機を設置してください。
 - 電気工事は、必ず分電盤のブレーカーを切って行ってください。感電の恐れがあります。
- 分解禁止**
 - 修理技術者以外の人は、説明書に記載された箇所以外は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。故障や感電・火災の原因となります。
- 禁止**
 - 電源コードの加工(切断や継足しなど)はしないでください。感電・火災の原因となります。

補強について



- 取付可能な壁面は上図の2種類のみです。
- 建築工事(別途工事)にて、寸法図を参考にキャビネットを固定する位置を確認し、壁面にコンセントを設け、補強木(幅80ミリ×厚さ30ミリ以上)をあらかじめ入れておいてください。*直接、壁の仕上材にキャビネットの取付けはしないでください。

必ず実行 ALC壁には取付けしないでください。取付強度が保てず、落下する恐れがあります。

取付けの前に(つづき)

壁の不陸について

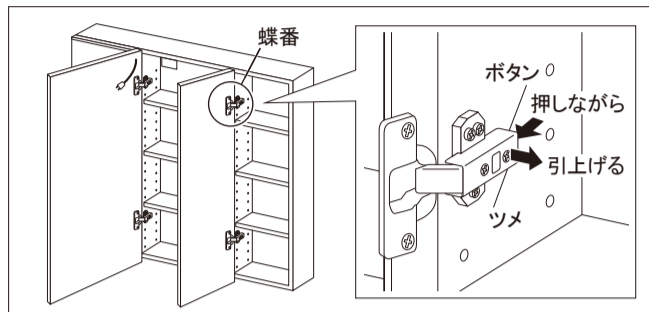
キャビネット取付壁面は5mm/2m以下であることを確認してください。
* 本体を壁に押しあて、壁とのすきまが2mm未満であることを確認してください。

注意 キャビネット取付壁面の不陸が5mm/2mを超える場合は施工しないでください。不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ恐れがあります。

取付方法

* 施工時に棚板がじゃまになる場合は、**使用方法**の「棚板の取外し」を参考に棚板を取外してから作業を行ってください。

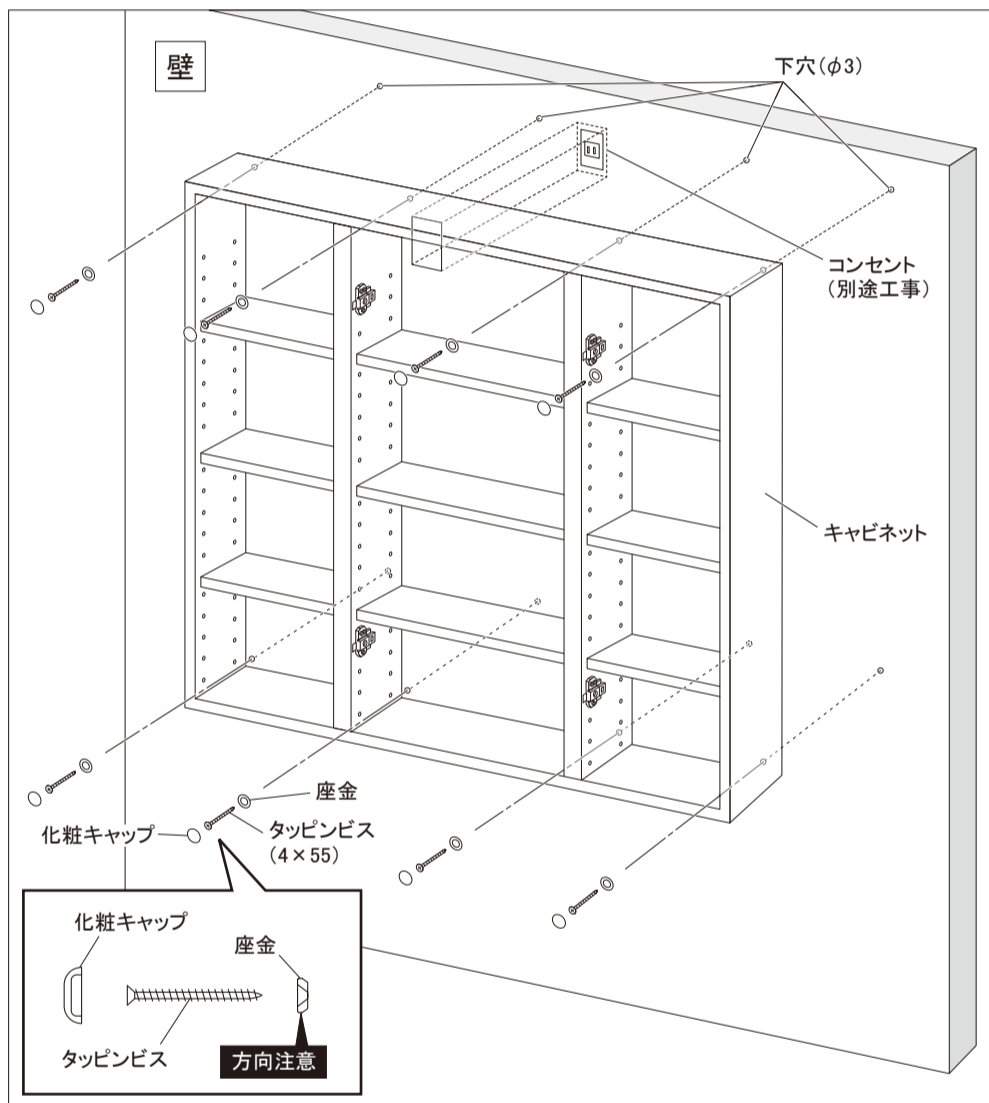
1. ミラー扉を取外します。



蝶番の裏側にあるボタンを押しながらツメを矢印の向きに引上げ、キャビネットからすべてのミラー扉を取外します。

注意 ミラー扉は重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。

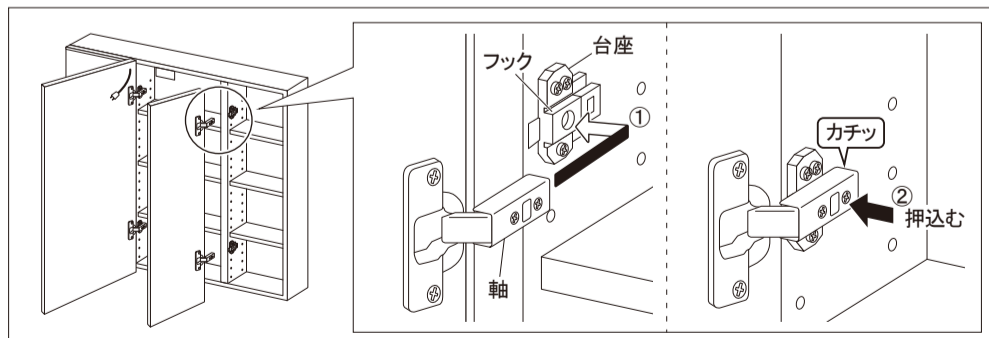
2. キャビネットを取付けます。



① コンセント位置に合わせてキャビネットを壁にあて、ビス位置をけがします。
② 下穴(φ3)を開け、キャビネットを付属の化粧タッピングビスで壁に固定します。
* 施工前にあらかじめコンセントと連動した入/切スイッチの所定位置を確認し、壁側に設けてください。
③ 水平器でレベルを確認します。

必ず実行 ミラー扉をすべて取外した状態でキャビネットを壁に固定してください。キャビネットにミラー扉を付けた状態で壁に取付けると、蝶番に負荷が掛かりミラー扉が落下する恐れがあります。

3. ミラー扉を取付けます。

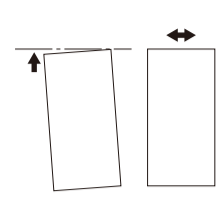
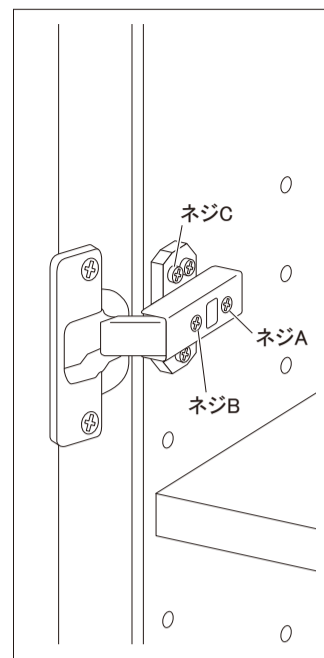


① 蝶番の軸を台座のフックに合わせます。
② 蝶番を矢印の向きに「カチツ」と音がするまで押込みます。
* ミラー扉は上側の蝶番から取付けてください。
* 蝶番が取付けにくい場合は、蝶番のネジを調整してください。
調整方法は 4. ミラー扉を調整します。を参照してください。
③ すべての蝶番が確実に固定されていることを確認します。

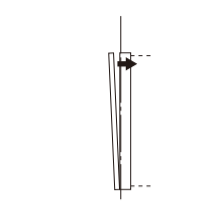
必ず実行 ●ミラー扉の取付けは、キャビネットを壁に固定した後で行ってください。キャビネットにミラー扉を付けた状態で壁に取付けると、蝶番に負荷が掛かりミラー扉が落下する恐れがあります。
●ミラー扉はキャビネットに確実に取付け、ガタツキやゆるみがないかを確認してください。

取付方法(つづき)

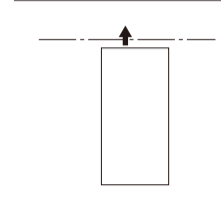
4. ミラー扉を調整します。(ミラー扉のふぞろいが生じた場合)



●ミラー扉先端を上げる・左右に調整する
① 扉下方のネジBを左へ回して調整します。または、扉上方のネジBを右へ回して調整します。
② 扉を閉めて確認します。
③ 正しい位置になるまで①②を繰り返します。



●ミラー扉と側板の隙間を上下合わせる
① 扉上方のネジAを左へ回して調整します。または、扉下方のネジAを右へ回して調整します。
② 扉を閉めて確認します。
③ 正しい位置になるまで①②を繰り返します。



●ミラー扉の高さを調整する・合わせる
① 扉上下のネジCを左へ回して調整します。
② 扉を閉めて確認します。
③ 正しい位置になるまで①②を繰り返します。

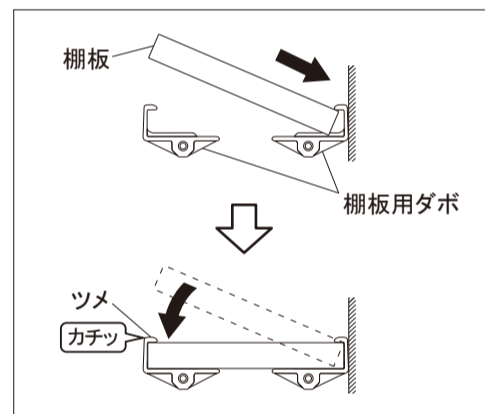
禁止 指定のネジ以外はゆるめないでください。ミラー扉が落下しケガをする恐れがあります。

施工後の確認

- ① 各部材の取付ネジが十分に締まっていることを確認してください。ゆるみがある場合は十分に締付け直してください。
- ② 各部材のガタツキや壁とのすきまがないか確認をしてください。ガタツキやすきまがある場合は必ずネジ取付位置を変えて取付け直してください。
- ③ キャビネットと扉のすきまが2mm未満であることを確認してください。すきまが2mm以上ある場合は、調整を行ってください。
- ④ 電源プラグをコンセントに差し込み、操作して作動することを確認してください。

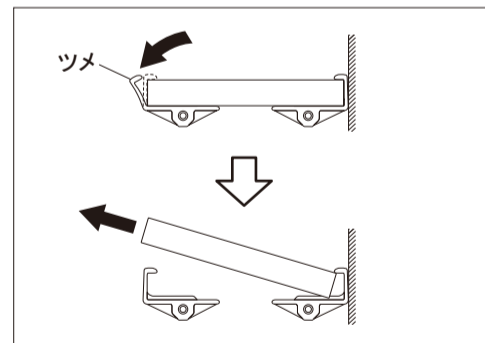
使用方法

棚板の取付け



① キャビネット内の収納部側板の取付穴に棚板用ダボ4個を根本までしっかりと差込みます。
* 棚板の高さは棚板用ダボの差込位置により決まります。
② 棚板の奥を棚板用ダボのツメに差込みます。
③ 棚板の手前を下に押さえ、棚板用ダボのツメに「カチツ」となるまではめ込みます。

棚板の取外し



① 手前側の棚板用ダボのツメを棚板から外します。
② 棚板を斜め上に引抜きます。

お手入れのしかた

日ごろのお手入れ (いつまでも美しくご使用いただくために)

中性洗剤をしみこませた布またはスポンジで拭取った後水拭きし、乾いた布等で水分をきれいに拭取ってください。キャビネット本体およびミラー扉がガタつかず、しっかり固定されているか確認してください。

注意 金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用しないでください。変色や変形の恐れがあります。

電源プラグのお掃除

必ず実行 安全のため、月に1回程度は、電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布で拭いてホコリなどを取除き、根本まで確実に差込んでください。電源プラグにホコリなどがたまり火災の原因になります。

株式会社 **カクダイ**

本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124